

東京エレクトロンホール宮城大ホールを御利用の皆様へ

日頃より、当館を御利用いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、皆様の御理解御協力をお願いします。

1 運営にあたっての依頼事項

- ・大ホール客席の最大定員は795名に制限しています。
- ・座席は、原則として指定席とし、適切に感染予防措置がとれる席配置（前後左右を空席にする市松模様状の利用）としてください。
- ・立ち見の利用はできません。
- ・各楽屋は定員の50%以下で使用願います。
- ・浴室はシャワーのみ使用できます。
- ・開場時の密集などによる混雑を避けるため、余裕のある入場時間や休憩時間を設定願います。また、終演時の混雑を避けるため、規制退場等を実施願います。
- ・入場時に検温を実施してください。当館ではサーマルカメラ2台を無料で貸し出しています。
- ・入場時のチケット確認（もぎり）は簡素化願います。
- ・来場者の氏名及び緊急連絡先の把握するよう努めてください。
- ・物品の販売は原則として通信販売等を利用願います。開演中にやむを得ず実施する場合は、2階ロビー内のみで行い、購入者の列は十分な間隔（2mを目安）を確保してください。
- ・開場・休憩時間は、客席及び入場口の全ての扉を開放し、換気に努めてください。また、本番中は入場口の扉を最低でも2か所を常時開放し、換気に努めること。
- ・やむを得ない場合を除き、常時マスクを着用すること。
- ・発熱や咳等の風邪症状が見られる場合は入館しないこと。

2 来場者への開催前の周知事項

下記について、ホームページやSNS等を用いて事前周知願います。

- ・マスクを着用すること。
- ・発熱や咳等の風邪症状が見られる場合は参加しないこと。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）、みやぎお知らせコロナアプリ（MICA）のインストールすること。

3 来場者への開催中の周知事項

下記について、掲示や場内アナウンスを用いて周知願います。

- ・アルコール消毒液で、手指消毒をしてから入館すること。
- ・公演中は常にマスクを着用すること。
- ・大声での声援や会話等は避けること。
- ・参加者同士の間隔をできるだけ（2mを目安）開けること。

4 感染が疑われる者が発生した場合の対応策

- ・感染が疑われる者が発生した場合、速やかに別室へ隔離を行ってください。
- ・対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底してください。
- ・速やかに、医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。

【新型コロナウイルス感染症 仙台市・宮城県健康電話相談窓口（24 時間受付）】

TEL（022）211-3883 /（022）211-2882

5 場内を消毒する場合の注意事項

ロビー、客席、楽屋等を消毒する場合は、下記に注意して実施願います。

- ・館内で次亜塩素酸ナトリウムの希釈液を作成する場合は、楽屋トイレのスロップシンクで行うこと。
- ・次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いて拭き上げ清掃を行う場合、適切な濃度（0.05%）の溶液で清掃をしないと、消毒が不十分であったり、布製品が脱色したりする場合がありますので、適切な濃度の溶液を用いること。
- ・清掃にあたっては、次亜塩素酸ナトリウム溶液を備品類に直接吹きかけず、タオル等に吹きかけて清掃すること。
- ・金属部分（手すり、ドアノブ等）は原則としてアルコールを用いて消毒すること。次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いて拭き上げ清掃する場合、金属が腐食することがあるので、消毒後必ず水拭きをすること。
- ・次亜塩素酸ナトリウムを含む消毒薬の噴霧は、吸引すると有害であり、効果が不確実であることから行わないこと。
- ・次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いて清掃する場合は、十分に換気をしながら行うこと。
※消毒の臭いが残る場合がありますので、影アナウンスで消毒したことをアナウンスしても良い。
- ・2回公演の場合、1回目の公演終了後の清掃はトイレ以外の座席、ドア、手すり等客席周辺を重点的に消毒する。
※2回公演の場合、当館の清掃員は1回目公演終了後トイレを必ず清掃するため。
- ・主催者控室内の備品（もぎり台、パイプ椅子、長方卓等）は使用後に消毒の上返却すること。

6 大ホール舞台作業等に係る依頼事項

① 出演者、スタッフ等について

- ・出演者、スタッフ、アルバイト等の氏名と連絡先を記入した名簿を作成し、一定期間保管願います。
- ・出演者やスタッフのマスクの着用、消毒液での定期的な手指の消毒、入館時前の検温や使用中の定期的な検温を実施してください。
※打合せや下見等でも上記対策をお願いします。
- ・作業時には軍手や手袋を着用願います。
- ・舞台上では、必要以上の大声や私語はお控え願います。
- ・ソーシャルディスタンスを保持し、出演者、スタッフ等の密接を避けてください。
- ・汗による飛沫感染を防止するため、適宜冷房を使用願います。
- ・公演の際は、客席との十分な距離（2 m以上）を空けてください。

- ・来場者と接触するような演出（声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わないようにしてください。
- ・客席内で演奏や演技するなどの演出を行う場合は、客席との十分な距離を空けてください。
- ・利用中に発熱や咳、咽頭痛などの症状が見られた場合は、速やかに会館職員に報告願います。状況により、公演中止や中断等の措置をとる場合があります。

② 舞台設備等について

- ・貸出備品に関しては通常の清掃を行っています。共用備品の使用に不安を感じる場合は、お持ち込みいただくか、会館職員の承認を得て備品を消毒することができます。
なお、当日の使用状況に応じ、使用後に備品を消毒して返却していただく場合があります。
- ・管楽器の演奏を行う際は、舞台や平台に唾液が浸透することを防止するため、各自受け皿等を用意願います。

③ 換気及び冷暖房設備について

- ・舞台、客席、楽屋及び周辺共用部は、外気を取り入れる換気設備を作動させています。
外気温と室内温度に大きな差が生じると、床や壁に結露が生じ、大変危険な状態となります。
舞台及び楽屋の冷暖房設備を使用する場合は、外気温と大きな寒暖差が生じないように、徐々に温度を変更するようにお願いします。
- ・換気の効率を上げるため、地下楽屋付近通路のドアを一部開放していますので、御理解と御協力をお願いします。
- ・地下楽屋使用時は、換気の効率を上げるため、できる限りドアを開けて使用願います。

【問い合わせ先】

東京エレクトロンホール宮城
事業課大ホール担当 / 舞台課
TEL (022) 225-8641
FAX (022) 223-8728
E-mail kenmin@miyagi-hall.jp